

【報道関係各位】

2025 年 4 月 23 日
一般財団法人 日本気象協会

2025 年桜開花・満開予想（第 10 回）

桜前線は北海道に到達 大型連休中は東北北部と道内の広い範囲で見頃に

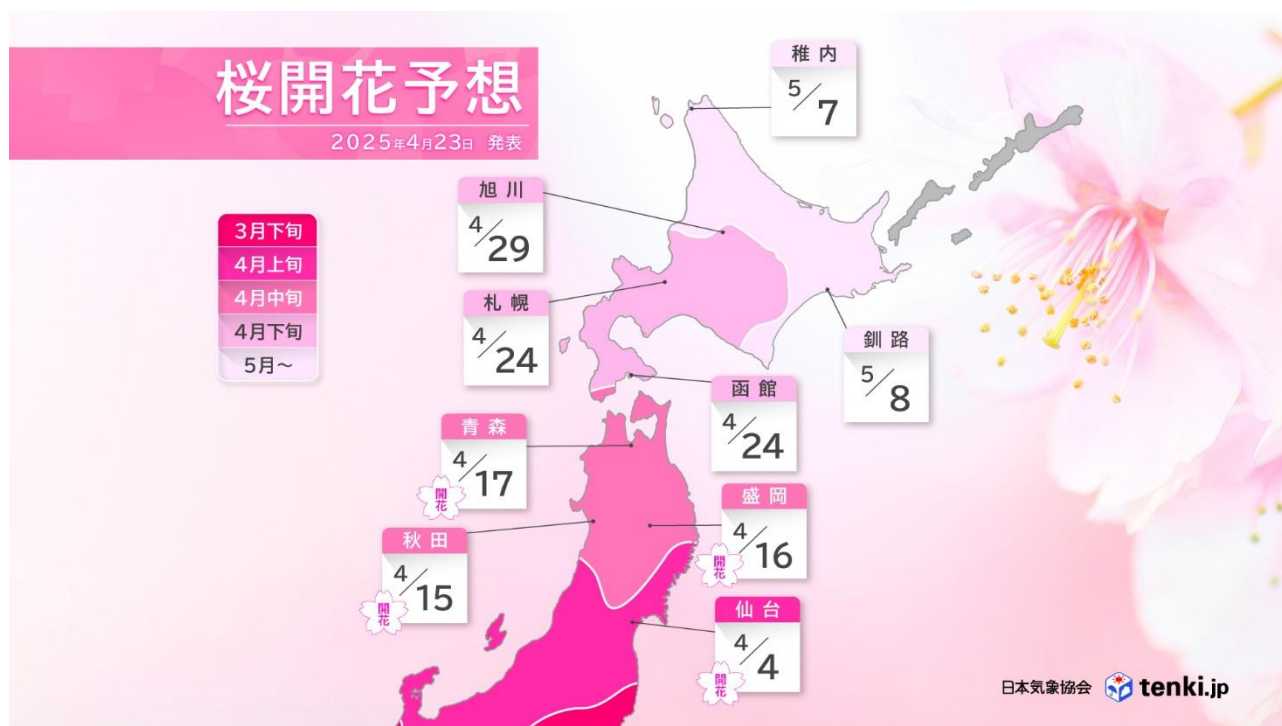
一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、日本全国 84 地点の桜の開花・満開予想（第 10 回）を、2025 年 4 月 23 日（水）に発表します。

◆2025 年桜開花・満開予想（第 10 回）のポイント

- ・現在、長野県や岐阜県の標高の高い所や、東北地方の広い範囲で見頃。
- ・北海道の開花と満開は平年より早く、かなり早い所も多い。
- ・東北北部と北海道では大型連休のころにお花見を楽しめる見込み。

また、次回の桜開花・満開予想（第 11 回）は 2025 年 4 月 30 日（水）に行います。4 月 24 日（木）から 4 月 29 日（火）までの間に予想日の変更があった場合は随時、天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじゃーぴー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にてお知らせします。桜開花・満開の最新の予想情報は『tenki.jp』にて確認ください。

開花予想前線図





開花と満開の傾向

桜前線は、北海道を進んでいます。4月末までに北海道の多くの地点で開花し、5月上旬には根室でゴールに達するでしょう。

北海道では、4月20日に松前町で平年より7日早く開花しました。この先開花する地点でも平年より早く、かなり早い開花となる所も多いでしょう。

現在、長野県や岐阜県の標高の高い所や、東北地方の広い範囲で桜が見頃を迎えています。

北海道では、函館や札幌、帯広では4月末までに満開となり、その他の地点では5月上旬から中旬に満開を迎える見込みです。

【言葉の説明】

平年:1991～2020年の平均値

かなり早い	:平年よりも7日以上早い
早い	:平年よりも3日から6日早い
平年並	:平年との差が2日以内
遅い	:平年よりも3日から6日遅い
かなり遅い	:平年よりも7日以上遅い

以 上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。1 月、2 月中は開花予想日のみを発表し、3 月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第 1 回 1 月 29 日(水)	第 2 回 2 月 26 日(水)	第 3 回 3 月 5 日(水)	第 4 回 3 月 12 日(水)
第 5 回 3 月 19 日(水)	第 6 回 3 月 26 日(水)	第 7 回 4 月 2 日(水)	第 8 回 4 月 9 日(水)
第 9 回 4 月 16 日(水)	第 10 回 4 月 23 日(水)	第 11 回 4 月 30 日(水)	

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で 5～6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で 80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:1 月は 49 地点、2 月は 53 地点、3 月以降は全国で約 80 地点の予想を発表します。予想地点は、各地気象台が観測する標本木 53 地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる約 30 地点となります。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。
日本気象協会は 2007 年から桜の開花予想を実施しており、今年で 19 年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。